

# グリーンエコシティ岩見沢

発行：ごみのよりよい始末を進める市民会議

## はじめに ～代表委員長より～

ごみのよりよい始末を進める市民会議の代表委員として活動をはじめてから8年目を迎え、市民の皆さま方のご理解とご協力のもと、廃棄されるごみの減量、分別徹底、再利用の促進などについて様々な啓発を行なってまいりました。

その結果、今年度のごみ排出量は「ごみ処理基本計画」で定めた計画値を達成する見込みですが、前年度と比べるとわずかではありますが増加しています。環境負荷の少ない循環型社会の構築のためには、市民一人ひとりがごみ減量に取り組む必要があります。

これまで、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を中心とした取り組みを進めてきましたが、今年度からは、新たに4つのR（リフォーム・リペア・レンタル・リフューズ）を加え、ごみ減量目標に向けてなお一層の啓発活動に取り組んでいます。

来年度以降も、町会連合会を通じて、各団体とも連携を図りながら、未来を担う小中学生や児童が環境への意識を高めることを目指すとともに、地域に密着した市民会議としての活動を充実してまいります。（H）



▲ごみ・環境総合案内所  
クリーンエコ

## 市民会議の活動紹介

# 環境フェスタ 2017～7月1日(土)

【環境フェスタを顧みて】「ごみのよりよい始末を進める市民会議」の活動の中で最も大きな催しである「環境フェスタ2017」は、昨年とは打って変わって天候に恵まれた中での開催ができました。おかげさまで多くの市民のみなさんに参加をいただきました。

市民会議の代表委員は、チラシを配っての来場呼びかけ、フェスタ前日のイベント会場の設営を行ない、当日には会場内各所で来場者をお迎えしました。

開催にあたっては、たくさんの団体、企業の皆様に出展をいただき、賑やかなイベントとすることができました。この環境フェスタを機に、市民のみなさんにごみの減量や再資源化について考えてもらい、昨今問題となっている環境破壊や地球温暖化へも関心を持って欲しいです。（I）



▲こどもたちと環境忍者えこの助

# 環境フェスタ 2017~7月1日(土)

【リサイクル自転車抽選販売ほか】リサイクル自転車の抽選販売は毎年大人気です。大型ごみとして排出された自転車からまだ使える部品を集め、ボランティアの方の協力で新しい1台の自転車を組み立てます。希望者が多く抽選販売となりますが、次回も実施する予定ですので楽しみに。

また、来場した皆さまにアンケートへの記入をお願いし、回答のお礼に酪農学園大学のアイスクリームを配りました。今回が初めての試みでしたが、大変好評をいただきました。そのほか、ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化講座やフリーマーケット、花苗の無料配布等が行われ、盛会裡に終了しました。

▶学生服リユースは大盛況



▶自転車抽選会の様子



# 先進地視察研修~10月16日(月)

## 富良野広域連合環境衛生センター・富良野市リサイクルセンター

富良野市のごみ処理は「燃やさない・埋めない」を基本理念として国内でも先進的な取り組みをし、なんと富良野市で排出されるごみ約7,200トンのうち91%を再利用し、焼却する量はほんのわずかだといえます。

富良野広域連合環境衛生センターでは富良野市のほか周辺4町村（上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村）の生ごみや草木を堆肥化しています。作った堆肥は農家や市民に販売しており、農業の盛んな土地柄もあってか毎年完売するそうです。堆肥の在庫ゼロが自慢だと話していました。

富良野市リサイクルセンターでは紙くず類やプラスチック製品から固形燃料を製造して道内の製紙工場や熱供給業者に販売をしています。販売といっても販売額は製造コストに見合うものではなく、利益を目的とした処理方法ではなく、資源の有効活用を強く意識していると思います。



▲センター職員の方から説明を受ける

「燃やさない・埋めない」という基本理念を支えるのは、ごみの分別の徹底です。富良野市のごみ分別区分はなんと14種類で、ごみ袋の種類も7種類もあります。転入者には市職員が10分以上もかけて説明するそうです。また、ルール違反のごみにはシールを貼って収集しないのは岩見沢市と同じ対応です。町内会などの地域住民の繋がりが強いこともあって、ルール違反はそれほど見られないようです。

岩見沢市もごみ有料化から3年が経ちますが、ごみステーションの中にルール違反のシールが貼られたごみが残っているのをよく目にします。ごみステーションは皆が利用するものです。もう一度、ごみの分別ガイドブックを見直して、自分のごみ分別が正しいか確認してみてもいいのではないでしょうか。(O)



▲ごみからできた固形燃料

## エコパーク三笠（三笠市）

三笠市唐松にある「エコパーク三笠」を訪れ、プラスチック製容器包装の再資源化工程を見学しました。エコパーク三笠では、岩見沢市のほかにも旭川市や苫小牧市からプラスチック製容器包装が運び込まれ、再び製品として生まれ変わっています。環境フェスタにも出展していただきました。ここでは、プラスチック製容器包装を素材ごとに選別し、ポリスチレン（PS）はインゴットと呼ばれる塊に、ポリエチレンとポリプロピレンはペレットと呼ばれる小さな粒に加工されます。これが製造業者に出荷され、断熱材やプラスチック製パレット、公園でよく目にするプラスチック製樹木といった商品に使用しています。

実は家庭から出るごみの約6割がプラスチック製容器包装ともいわれています。きちんと分別することで、家庭から出るごみの多くが再び資源として利用できるのです。ちなみに、岩見沢からエコパーク三笠に運び込まれるプラスチック製容器包装は、品質が良い（分別がきちんとされている・汚れたものが混じっていない）とのことでした。引き続き私たち市民会議からも、正しい出し方を呼び掛けていきます。(Y)



▲「ボール」と呼ばれるプラスチック製容器包装の塊



▲大きな機械がいくつも動いています

# 生ごみ堆肥化

## 生ごみ堆肥化講座

コンポストやダンボールコンポストを使用した生ごみ堆肥化講座を、クリーンエコスタッフの協力を得ながら、年に数回開催しています。

今後も3月より毎月開催したいと考えています。生ごみの堆肥化を始めるには丁度良い季節になってきます。皆様のご参加をお待ちしております。(K)



### 生ごみ堆肥化講座開催日

**参加無料**

3月24日(土) 午後1時半～午後3時

定員：20名 持ち物：筆記具

参加申込先：クリーンエコ (☎31-1153)

## 私とコンポスト

### ～コンポスト併用で堆肥化～

私とコンポストの出会いは、今から十数年前です。退職を機に、本格的に家庭菜園をやるうと考え、様々なところで開催されている農業に関する講習会に参加しました。そこで知ったことですが、化学肥料のみで作物を栽培していると土の地力が落ちておいしい作物が育たなくなるということです。それから私は堆肥化に関して勉強し、現在は2つの方法で堆肥化を実践しています。

まずひとつめは、家庭から出る生ごみをコンポストを使って堆肥化する。ふたつめは、家庭菜園で収穫した作物の葉っぱや茎、殻などを小さく押し切りで刻み、畑に戻して堆肥化する。こうすることで、肥料の購入費の節約にもなりますし、ごみの減量にもなり、ごみ袋を買う費用も抑えられます。ぜひ皆さんも堆肥化に取り組んでみては？(K)

## ダンボールコンポスト基材づくり

クリーンエコ等で販売している、ダンボールコンポストの「基材」。もみ殻燻炭とピートモスを一定の割合で混ぜたもので、外に置くコンポストの基材としても同じように使うことができます。この「基材」は、市民会議と市環境部の職員とで作ります。

燻炭の細かい粉が舞う中の作業なので、終わった後はみんな顔が真っ黒になります。(K)

## イベントのお知らせ

ごみのよりよい始末を進める市民会議では、皆さんが気軽に衣類のリユース(再使用)をとおしてごみの減量を実践できるように、「衣類のくるくる市」を開催します。皆様のお越しをお待ちしております。

### 衣類のくるくる市開催日

3月21日(水・祝) 午前10時～午後3時  
まなみーる文化センター

※3月6日から16日まで、衣類の持ち込みを受け付けます。詳しくは広報いわみざわ3月号をご覧ください。

問合せ先：クリーンエコ (☎31-1153)

# ごみの減量・分別啓発活動

## 岩見沢神社秋季祭典（9月14日～16日）

秋のお祭りには多くの露店が軒を連ね、市内外から多くの来場者が訪れます。その場で飲食するものがほとんどなので、多くのごみが出されます。

会場内の特設ごみ集積所前には、市民会議の代表委員が立ち、ごみを捨てに来た人に分別の徹底を呼び掛けました。

会場内を散策する人には、生ごみの水きりを呼び掛ける、「生ごみダイエット」のチラシを入れたポケットティッシュを手渡し、ごみ減量への協力をお願いしました。14日には、夕方にかけて突然の土砂降り雨に見舞われるというアクシデントもありましたが、人波が途切れることもなく賑わっていました。（K）



▲ごみの分別を呼び掛けました



▲ティッシュを手渡す

## ふるさと百餅まつり（9月17日）

回を重ねるごとに盛況になる印象の百餅まつりも今回で実に35回目です。当日は近くで「いわみざわ情熱フェスティバル」や「消費生活展」も同時開催中とあって大賑わいでした。「ごみの分別にご協力願います」ののぼりを先頭に、4条通りと西2丁目通りで啓発をしました。（K）



▼会場でのごみ減量啓発



# クリーンエコについて

ごみのよりよい始末を進める市民会議の代表委員 35名は地区協より推薦され、「クリーンエコ」を活動拠点に、市の職員の方と一緒に 1日2名が交代で市民の皆様からのごみに関する疑問、相談にお答えしています。

また、クリーンエコでは 16 種類の資源物を受け入れているほか、コンポストをお気軽に始められるよう、ダンボールでできたコンポストのキットと基材を販売しています。



## 資源回収受入品目

- 小型家電
- 蛍光管
- 廃食用油
- びん（無色・茶色・その他の色）
- 缶（アルミ・スチール）
- ペットボトル
- 紙パック
- 生ごみ堆肥
- 乾電池
- 古布
- 古紙類
- 割りばし
- 生ごみ

## ◎ご利用案内

開所時間：午前 10 時～午後 5 時

開所日：火曜日～日曜日（月・祝休）

問合先：☎31-1153

## ごみの減量について～事務局から～

ごみの有料化から3年が過ぎようとしています。

有料化前と比較すると、ごみ量は大幅に減少しておりますが、僅かながら増加傾向にあります。

ごみの減量に効果的な生ごみの水切りを実践していただくなど、ごみ減量化に向けて皆さまのご協力をお願いいたします。



水切り1回で  
20グラム減量

## 編集後記

「クリーンエコシティ岩見沢」第6号を発行できました。今回は、編集委員に新たなメンバーを迎えて編集いたしました。発行にご協力いただいた方々に感謝いたします。

事務局：市役所廃棄物対策課 ☎23-4111(内線 214)

ごみのよりよい  
始末を進める  
市民会議